

2021年7月～12月 世界の主な水災害マップ

2022.4.27時点

ヨーロッパ(ドイツ、ベルギー、オランダ、スイスほか) (7月)
ヨーロッパ中部の山岳地帯が豪雨に見舞われ、ライン川水系およびマース川水系の中小河川が短時間で増水し氾濫、多数の死者を出した。
死者242人(うちドイツ197人、ベルギー43人)。

インド(ウッタラカンド州) (8月)
季節外れの低気圧による大雨で洪水や土砂災害が発生。ガンジス川やゴシ川氾濫により浸水被害が生じた。ナイニताल県では複数地点で既往最大雨量を観測。
死者92人、行方不明者3人。

ネパール(10月)
季節外れの低気圧による大雨で広い範囲で洪水や土砂災害が発生。スドウパシュテム州ではマハカリ川氾濫により複数の集落が浸水した。
死者121人、行方不明者28人。

中国(河南省) (7月)
省内各地で記録的豪雨による洪水や土砂災害が発生。最も被害が大きかった鄭州市では観測史上最大の1時間雨量が観測され、地下鉄やトンネルが浸水した。
死者・行方不明者あわせて398人(うち鄭州市380人)。

米国(テネシー州) (8月)
州中部で記録的豪雨による大規模な洪水が発生。トレース川など複数河川が氾濫した。大規模な停電や、道路・橋に大きな被害が生じた。
死者20人。

トルコ北部(8月)
黒海沿岸西部が集中豪雨に見舞われ、山間部から流出する短い河川で激しい洪水が発生。カスタムヌ県ボズクルトでは洪水によるビル倒壊で多数の死者が出た。
死者82人、行方不明者16人。

米国南部・北東部(8月-9月)
ハリケーン「アイダ」がカテゴリ-4の勢力でルイジアナ州に上陸。南部では大雨、高潮、強風による洪水、大規模停電、原油や天然ガス生産停止等の被害が生じた。その後、北東部のニュージャージー州などで大雨による大規模な洪水被害が生じた。
死者96人。

インド(マハーラーシュトラ州) (7月)
州西部の西ガーツ山脈で集中豪雨が発生。山脈を水源とする複数の河川が増水し、沿川の都市部を中心に浸水被害が生じた。
死者213人、行方不明者8人。

ブラジル南東部(12月-1月)
ラニーニャ現象と収束帯による大雨で河川氾濫や中小ダム決壊が発生。長期間にわたり断続的に洪水が発生した。
死者52人。

インド(アンドラ・プラデシュ州) (11月)
ベンガル湾の低気圧の影響による豪雨で大規模な洪水が発生。4県の1,990村落が被災した。
死者101人、行方不明者13人。

マレーシア(12月-1月)
モンスーンと発達した低気圧により大雨が続き、マレー半島を中心に洪水や土砂災害が発生。スランゴール州シャーアラムでは深刻な浸水被害と停電により、日系企業を含む多くの企業の工場が操業停止に追い込まれた。
死者54人、行方不明者2人。

フィリピン中部・南部(12月)
台風22号によりビサヤ地方を中心に甚大な被害が生じた。避難者は100万世帯にのぼる。広い範囲で通信障害や停電が発生したほか、インフラ・農地への被害も大きかった。
死者405人、行方不明者52人。

フィリピン北部・中部(10月)
台風18号によりルソン島など北部を中心に洪水や土砂崩れが発生。ルソン島の複数の都市で、24時間で1か月分の大雨が観測された。
死者43人、行方不明者16人。

Number of Death	0 ~ 49
Number of Death	50 ~ 99
Number of Death	100 ~ 499
Number of Death	500 ~ 999
Number of Death	1000 ~

被災者に関する数値は、被災国政府発表資料、現地報道資料、EM-DAT等を基にIDIで作成。

